

# 川西市（近畿ブロック）

【計画期間 27年4月～32年3月】

- ・中世～：清和源氏発祥の地として源氏発展の基礎を築き、ゆかりの寺社を抱える。
- ・昭和40年代～：交通便利性を活かした大阪のベッドタウンとして発展。
- ・人口160,733人、面積53.44km<sup>2</sup>（平成26年3月現在）

## 【前計画の概要】

○商業施設整備などにより魅力的な商業環境を創出する。また市民が中心となって、日常的なにぎわいを創出するため、イベントの開催等、中心市街地に人々が回遊・滞留するための仕掛けづくりを行う。

（計画期間：平成22年11月～27年3月）

## 【中心市街地の変化】

○駅周辺の大型店のリニューアルや商業、芸術・文化を含めた様々なイベント等による効果として、歩行者通行量が増加に転じた

○来街者の平均滞留時間が減少し、ハード事業や各種イベント等の展開だけでは、滞留時間を延ばすことはできなかった。

## 【目指す中心市街地像】

**活力があり、環境にやさしく、暮らしたくなる中心市街地の創造**

## ■前計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H26)	現況値
魅力的で活気のある「かわにし」の創造	年間商品販売額（小売業）	536億円（H21）	540億円（H26）	490億円（H25）
楽しみながら回遊したくなる「かわにし」の創造	歩行者通行量（休日）	56,368人（H21）	62,000人（H26）	64,172人（H26）

## ■新計画の目標

目標	指標	基準値	目標値(H31)
多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造	歩行者・自転車通行量（休日）	67,830人（H26）	71,727人
	来街者の平均滞留時間	2.04時間（H26）	2.42時間
暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造	人口の社会増減	4人/年（H25）	106人/年

多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造

暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造

### 【主要事業】

- ・低炭素型複合施設整備事業
- ・中央公園整備事業
- ・せせらぎ遊歩道整備事業
- ・タウンマネージャー事業

など

### 【主要事業】

- ・キセラ川西マンション建設事業
- ・サービス付き高齢者向け住宅施設整備事業
- ・中央北地区特定土地区画整理事業

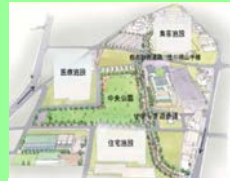
など

# 川西市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造

### ①低炭素型複合施設整備事業

文化ホールに加えて、福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設を整備することで、にぎわいを創出する。



キセラ川西地区

### ②中央公園整備事業

市民の憩いの場であるとともに、防災機能を有するキセラ川西地区のシンボルとなる公園を整備する。

### ③せせらぎ遊歩道整備事業

キセラ川西地区のシンボルとなる遊歩道を整備することにより、キセラ川西内の回遊性を高めるとともに、コミュニケーションの場としての空間を創出する。



せせらぎ遊歩道

### ○タウンマネージャー事業

まちづくりを担える新たな人材の発掘、育成などを行うことで、中心市街地のまちづくりに必要な体制を構築する。

## 暮らしたくなる魅力的な中心市街地の創造

### ④キセラ川西マンション建設事業

キセラ川西にPFI事業を活用したマンションを建設し、居住人口の増加を図る。



キセラ川西マンション建設

### ⑤サービス付き高齢者向け住宅施設整備事業

川西能勢口駅前にデイサービス付きの高齢者向け住宅施設を整備し、高齢者居住の推進を図っていく。

